

◆おおだて型学力推進のため、
各専門部組織ではテーマと重点研究項目を設定し研究を進めています！◆

	テーマ	重点研究項目
校種間等連携	校長会	おおだて型学力向上に向けた学校経営 1) 学校経営研究会などにおける学力向上に向けた学校経営の研究 2) 関係各協議会における学力向上施策の推進
	教頭会	地域とつながる組織運営 1) 「おおだて型学力」を育てる小・中連携の在り方 2) 「おおだて型学力」を育てるふるさとキャリア教育の推進
	生徒指導協議会	地域や小・中連携意識に基づく生徒指導の充実 1) 児童生徒の健全育成を目指した小・中部会、小・中連携部会の充実 2) 専門知識をもった講師を招いての講演会の開催
授業の質の向上	市教育研究会	授業交流の推進による授業改善 1) 各部会共通して取り組む「考え抜く力」を育てる授業実践の推進 2) 部会の特性を生かした授業等交流の一層の充実
	研究主任会	学び合う力の育成 1) ねらいに迫るための明確な課題提示 2) 伝え合う手立ての工夫
個々の資質の伸長	教務主任会	自他の伸長をはかる教育課程 1) 自校課題の解決に向けた教育課程の編成と推進 2) 小・中連携の重点を育む実践の共有
	教育研究所	子どもの特性に応じた学びの推進 1) 子どもハローワーク事業の充実 2) 「どこでも支援教育・だれでも支援教育」の推進 (文科省事業: 発達障害の可能性のある児童生徒への早期支援)
	進路指導協議会	自分の未来を切り拓く進路指導 1) ボランティア活動への参加奨励、事例紹介 2) 目標に向かって確実に行動する力の育成
	特別支援教育協議会	自立と社会参加を目指して 1) 児童生徒の将来を見据えた自立と社会参加に必要な力の明瞭化 (1年次)

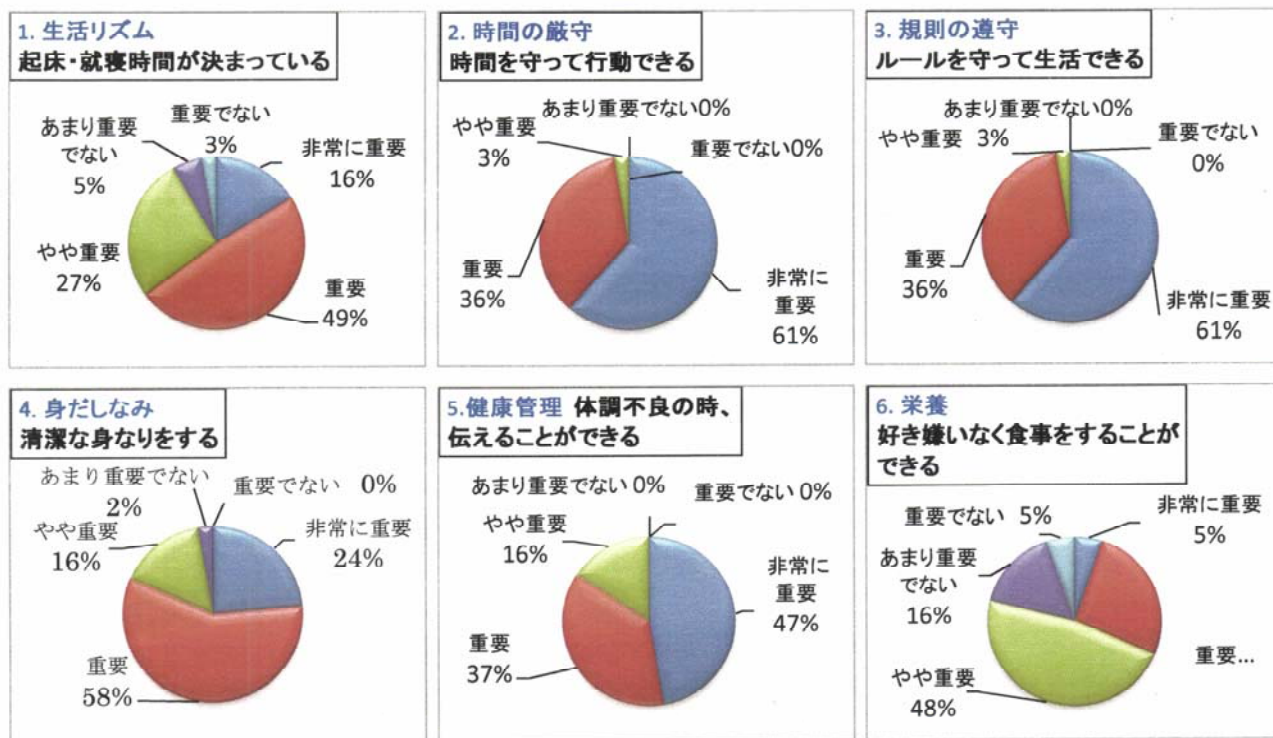
◆特別支援教育協議会からの報告◆
「自立と社会参加に係わる将来必要な力」について

1 はじめに

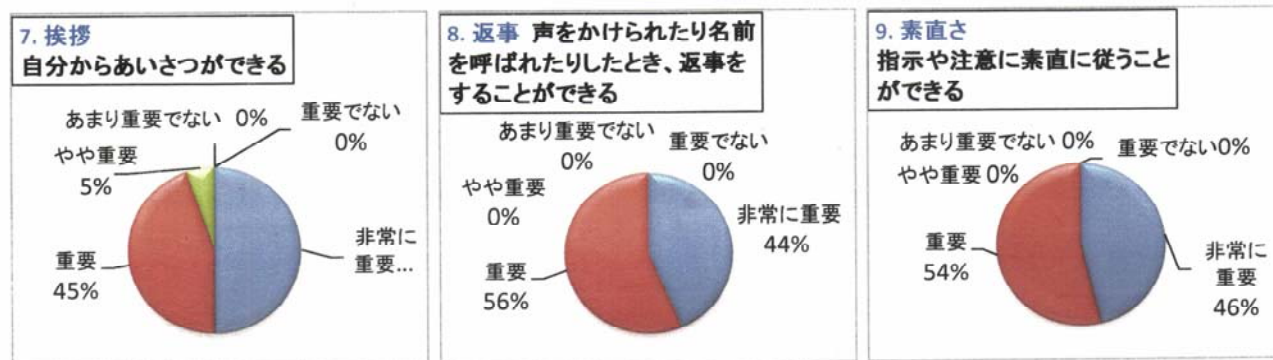
今年度“第8次学力向上に関する提言”をうけて『社会をたくましく生き抜くための「社会人基礎力」「社会人実践力」を育てる』という目標が教育委員会から提示された。特別支援教育協議会では、市内の特別支援学級に在籍している児童生徒の自立と社会参加を目指したときに、どんな力が必要なのかを知る必要があると考えた。そこで、比内養護学校地域支援部の協力を得て、過去に障害をもった人を受け入れたことがある、または現在障害をもった人を受け入れている職場・企業（50社中40社から回答あり）に、基本的生活習慣・コミュニケーション力・活動遂行力の3分野22項目についてアンケートを依頼し、将来必要な力について調査した。

2 アンケート結果

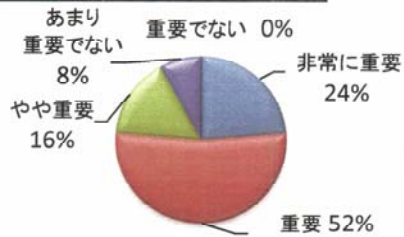
(1) 基本的な生活習慣



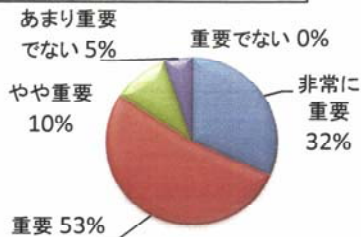
(2) コミュニケーション



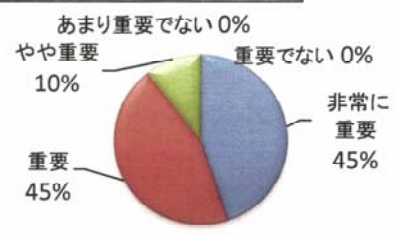
10. 言葉遣い
適切な言葉遣いをする事ができる



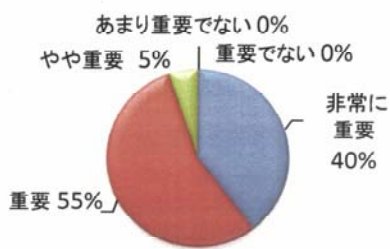
11. 感謝・謝罪 援助を受けたり失敗したりしたときなど、感謝したり謝罪したりできる



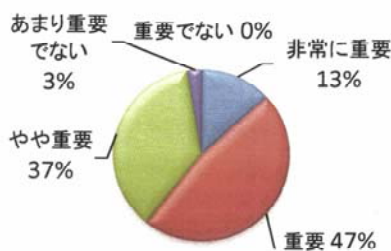
12. 意思の伝達
できました・できませんが言える



13. 質問
分からないときは自分で聞ける

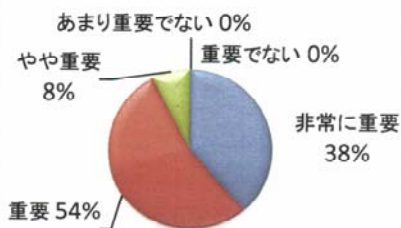


14. 他者との協調
周囲の人と仲良く会話ができる

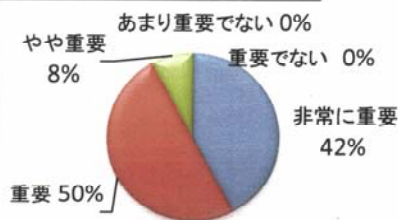


(3) 活動遂行力

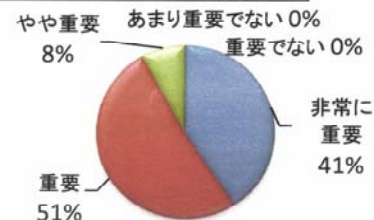
15. 指示の理解
指示通り活動することができる



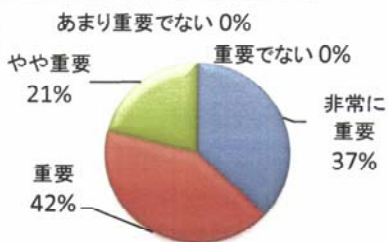
16. 集中力
集中して活動に取り組むことができる



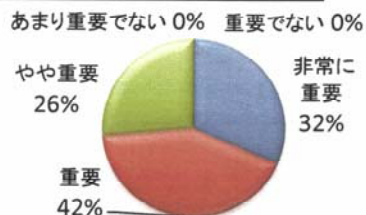
17. 忍耐力
途中で投げ出さなで、最後まで活動することができる



18. 正確さ
正確に作業をすることができる



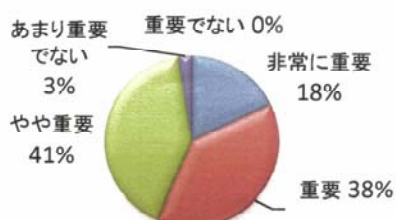
19. 丁寧さ
道具や用具を丁寧に扱うことができる



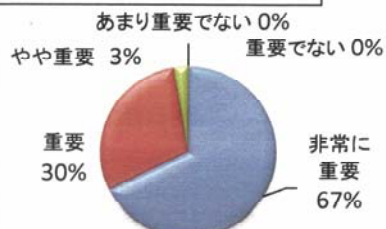
20. 整理整頓
整理整頓ができる



21. 清掃
きれいに清掃ができる



22. 危険への配慮
危険に注意を払い活動することができる



(4) 自由記述

職場・企業からの要望（自由記述から原文のまま）

- ・ 大きな声で話す、きびきびした行動、自分から挨拶する、明るい笑顔ができる習慣を身に付けてほしい。
- ・ 挨拶、指示に対しての素直さ、集中力、忍耐力の指導は社会に出たら必要な項目ですので、指導が不可欠であると考えます。
- ・ 言葉遣いや態度等で上下関係を理解しないまま社会へ出てくる人が多いように思われます。
- ・ 報告・連絡・相談は欠かせません。
- ・ 「笑顔」が大切でその環境作りは必要であると思われます。
- ・ 相手の気持ちの分かる人間の育成。良好な人間関係を築く基本となることだと思います。
- ・ 指示に従うことばかりでなく自発的に行うことができるような発想の転換の指導も必要でないかと考えました。（自分勝手に行うのではなく、考えることがスムーズにできればいいと思いました。）
- ・ 人間関係の形成につながるために、集団活動への参加、自分や他人の意図や気持ちを理解できるようになること。
- ・ 義務教育レベルの漢字の読み書き、四則計算が間違いなくできること。経済的に自立するという意思をもたせる。
- ・ 一つの事に集中して取り組めることがとても大切です。
- ・ 物事に対する柔軟な姿勢が必要です。
- ・ 目標設定とプロセス、結果に対しての反省の行い方と考え方ができればいいと思います。
- ・ 働くにあたり一番必要なのは健康です。
- ・ いろいろな職場を体験させてほしい。
- ・ 自分の得意な分野を自覚させ、自信を持たせてほしい。
- ・ 何かをやり遂げた達成感(充実感)を味わわせることが大事。
- ・ 自己成長につなげるためのよい結果も悪い結果も自分自身で受け止める力が付くようにご指導願います。
- ・ 個人の自立性や新しい発想の育成。
- ・ 就労への意欲・関心を高める学習。

3 考察

アンケート結果を見てみると、基本的な生活習慣の分野では「時間の厳守」「規則の遵守」が非常に重要と答えた企業が多かった。特に販売関係の職場ではその比率が高い。次いで「健康管理」「身だしなみ」になっている。コミュニケーションの分野では「挨拶」「返事」「素直さ」「意思の伝達」の項目が非常に重要であり、上司や同僚との関わりに誠実に対応できることが求められている。「言葉遣い」「他者との協調」は非常に重要な割合は高くないものの、「質問」「感謝・謝罪」の項目と同様に重要ということが分かる。活動遂行力の分野では、「危険への配慮」が最も重要で、ほとんどの職場・企業で非常に重要と答えている。次いで「集中力」「忍耐力」「指示の理解」「正確さ」が重要とされている。また、「整理整頓」「清掃」は非常に重要な割合は高くないが、重要とされている。

4 おわりに

個々の能力に応じて、自立の程度・社会参加の在り方は一人一人に違いはある。今回、職場や企業からいただいた貴重な意見は、私たちが「社会人基礎力」「社会人実践力」を見据えた指導を实践するうえでの大きな手がかりとなるものであった。今後、児童生徒が将来、社会に飛び立つための指導の糧として関係者で検討し生かしていきたいと思う。